

鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI達成状況

(平成27年度末時点)

政策目標1 鹿島のものづくりをさらに磨きあげて 鹿島ならではのしごとを生み出す

成果指標名	単位	施策目標		施策目標の達成状況				
		平成27年度	平成31年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
製造業従業者数(従業者4人以上) 5%増	人	2,205(H25)	2,315	2,211(H26)				
商業従事者数 5%増	人	2,853(H19)	2,995	2,059(H26)				
製造品出荷額(4人以上) 5%増	万円	4,667,233(H25)	4,900,594	4,934,005(H26)				
新規就農者、農業後継者への支援施策による新規就農者	人/年	5		5				

基本戦略①		新規就農者、農業後継者への支援						
内容	地域農業の中核を担う農家等を認定農業者として、また新規就農者等を認定新規就農者として「人・農地プラン」に位置づけを行い、総合的に支援していきます。 また、新規就農総合支援事業として45歳未満の青年農業者等に対して就農支援として給付金を給付し持続可能な農業経営を確立させます。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存) 新規就農者定着支援事業	市外からの転入就農者	人/年	2(10人)	2				
(既存) 青年就農給付金事業(経営開始型)	農業起業家	人/年	3(15人)	3				
今後の展開	市町、JA、生産部会等が一体となった、地域での新規就農者の受入体制を整備していきます。							

基本戦略②		米政策の改革に対応するため需要に応じた生産への取組み支援						
内容	経営所得安定対策の米の直接支払交付金及び水田活用の直接支払交付金を活用し、今後の米市場情勢等を考慮した上で、主食用米に偏重しなくても発展的な営農継続ができるように新規需要米等への移行できる体制、取組み等を支援します。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計) 新規需要米等への移行支援	酒造好適米の生産面積	ha	19 ⇒ 24	24				
	主食用コメ以外(飼料米、加工米等)	ha	8 ⇒ 23	15				
今後の展開	多収品種による非主食用米への転換、生産者段階の支援として実需者との複数年契約での作付けを推進するなど、現場のニーズに応じた米生産ができるよう関係機関等との連携を図り、今後も支援を行っていきます。							

基本戦略③		農産物のブランド化と生産コスト低減による競争力の強化						
内 容	マルチ資材の活用や根域制限高畝栽培への取り組みを支援することで、糖度が高く消費者から支持されるみかん栽培を促進し、「鹿島みかん」の顔として産地を牽引していきます。また、生産コストの削減により農家経営の安定化を図ります。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)ブランドみかん生産への支援	温州みかんの根域制限マルチ栽培面積	ha	3 ⇒ 7	4.5				
	温州みかんのマルチ被覆率(面積)	%	21.5%⇒ 30%	35				
今後の展開	老木園や低生産園については計画的な改植による園地の若返りを図るとともに、品種更新をすすめ、より高品質な果樹栽培を行います。							

基本戦略④		漁場環境改善の推進						
内 容	平成27年度から3年をかけて補助事業を活用し、漁協鹿島市支所の区画漁業権区域の約1300haにおいて海底耕耘及び堆積物の除去を行います。このことで、底質の改善による貝類の増殖、さらには、水質の改善による赤潮発生の低減に繋がることで、漁場環境改善を図ります。同様に、漁業者が行う海域環境保全活動に対して、補助事業などを活用した支援を行います。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)漁場環境改善の推進	海苔貝類区画漁業権内の海底耕耘	ha	1,300	440				
	海域の環境保全活動に対する支援	年間活動日数	60日	64				
今後の展開	海底耕耘を行っている補助事業は、事業完了後10年間は同一箇所での実施ができないが、その期間中について、単独事業で実施していくか未定。海域の環境保全活動に対する支援は、水産多面的機能発揮対策事業で実施しており、平成27年度で第1期目が終了し、平成28年度から5年間の第2期目に取り組むこととなりました。今後も継続して支援を行っていきます。							

基本戦略⑤		既存中小企業者・新規創業者及び第2創業者への支援						
内 容	販路拡大、商品開発、設備投資、借入れ、創業など、市内事業者が抱える様々な経営課題を解決するため、専門家によるアドバイス窓口の設置と、産・学・金・官の連携による地域産業の総合的な支援体制を構築します。また、セミナーの開催や、スキルアップを目的とした研修費の補助など、事業主や従業員の人材育成にも取り組むことで、市内中小企業・小規模事業者等の存続・育成を図ります。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(新)かしまビジネスサポートセンター設置・運営事業	相談件数	件/月	30	22				
	経営課題の解決事例	件/月	3	4				
今後の展開	担い手の育成と地域資源の掘り起こしを強化していきます。また、昨年締結した市と金融機関、商工会議所による「しごと・ものづくり、ひとづくり、まちづくり」の好循環の実現に向けた三者連携協定に基づき、関係機関と連携し地域経済の総合的な支援体制構築に取り組めます。							

基本戦略⑥		地域経済の活性化と雇用の場を確保するための既存工場に対する支援						
内 容		工場団地への進出企業への助成制度の継続、相談窓口の開設及び各種助成制度により市内中小企業の持続的な発展を推進します。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存) 企業助成措置事業	工業製品出荷額	万円	4,667,233 (H25) ⇒ 4,900,594 (H31)	4,934,005 (H26)				
今後の展開	既存の助成制度を継続していきます。また、地場企業の抱える設備投資、借入れ、人材等の経営課題に対し、よろず相談窓口である「かしまビジネスサポートセンター」において適切なサポートを実施し、市内中小企業の持続的な発展を支援していきます。							

基本戦略⑦		中心商店街の再活性化と地域が持つ特有の強みを活かした商店街づくり						
内 容		県単独補助事業、市単独補助事業を活用しソフト事業による商店街活性化を図ることで、市内小売店等の既存事業者の維持に努めます。中心商店街への県単独補助事業、浜宿への市単独補助事業の活用により、改装費補助を実施することで空き店舗への出店を促進します。また、事務所系の企業誘致の受け皿としても積極的に案内を行います。浜宿及び祐徳門前において、観光客も対象とした店舗の新規出店を促し、観光地としての魅力を創出するとともに、空き店舗等の解消を図ります。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存) 商業・商店街振興事業	空き店舗等の解消	店舗	3 (H28以降)	1				
	商店街の通行量(平日) ※車両含む。5%増	人	中心商店街 4,300⇒4,515 門前商店街 330⇒ 347	4,300 330				
(既存) 个性的で魅力ある観光型店舗の参入促進	支援策等の情報発信による店舗参入	件	2件以上	1				
(新) 鹿島市祐徳門前町まちづくり事業	まちづくり協定の締結率	%	90	0				
今後の展開	昨年度、チャレンジショップ事業に取り組み、空き店舗の解消にも寄与しました。今後も継続し、商店街活性化による小売店等の維持・発展に努めていきます。祐徳門前町まちづくりについても取り組みを継続し、住民主導のまちづくりと合意形成を推進していきます。							

基本戦略⑧		新たな産業の創出と産業活性化施設「海道しるべ」の活用						
内 容	鹿島特有の地域資源の掘り起こしに取り組み、伝統的な産業と新たに地域の産物を加工することによってできる新商品との融合による、新たな産業の創出を推進します。 また、産業活性化施設「海道しるべ」を活用し「ものづくりのまち鹿島」として市内外へのアピールを積極的に行い、経営の多角化によるブランド鹿島の産業育成を目指します。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(先行型交付金)地域ブランド販路開拓事業	鹿島ブランド認定商品	品	8	0				
(先行型交付金)新商品等販路支援ショップ	新商品等の販売目標金額	千円/年	1,000	2,688				
今後の展開	地域ブランド販路開拓事業：市内各産業団体からなる連携組織を設立し、見本市等に出展しました。今後は得られたノウハウ等を活かし鹿島ブランド商品の確立を目指します。新商品等販路支援ショップ事業：8ヶ月の販売で目標を大きく上回る実績となり、今後もPR等を行い開発された商品の販売を支援します。							

基本戦略⑨		産業間の連携構築						
内 容	第1次産業から3次産業、各産業を代表する団体間の連携を図るための協議会を設立します。互いの強みを活かした共催事業の開催等を通じ、互いの理解を深め、連携することで新たな産業の発展に取り組みます。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(新)地域産業再興事業	イベント参加者の満足度	%	80	72				
(新)市内の一次産品を使用した商品・料理開発事業	商品化に向けた加工品の試作	品	5	4				
今後の展開	地域産業再興事業：平成27年度に設立された、市内各産業団体からなる連携組織が主体となり、「かしまおまつり市」を開催しました。今後も構成団体の強みを活かした事業を実施します。市内の一次産品を使用した商品・料理開発事業：産業活性化施設「海道しるべ」を活用し、地域資源を活用した加工品の更なる開発に取り組みます。							

基本戦略⑩		戦略的な産業活性化を通じた産業の振興・発展						
内容		産学公連携による新たな地域資源の掘り起こしに取り組み、付加価値のある商品の開発を支援し、産業の活性化を図ります。また、市内はもとより国内外へ向けた情報発信を積極的に行い、市内外の鹿島ファンとのネットワーク構築を図ります。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(先行型交付金)地域資源活用による地域振興事業	新商品の開発件数	件	2	3				
(先行型交付金)風味豊かな鹿島産水産物の販路拡大支援事業	新たな取引先との商談目標件数	件	2	10				
	年間販売増加額	千円	500	200				
今後の展開	地域資源活用による地域振興事業：市内産物を使ったアメニティブランド「キンパンカ（チョウズシリーズ）」3品を商品化しました。今後も新たなシリーズの展開を行っていきます。風味豊かな鹿島産水産物の販路拡大支援事業を実施したことにより、漁業者にとって鹿島産海苔の自信と消費者が求めているものが実感でき、生産・販路拡大の意欲向上につながっている。今後は更に営業に力を入れられるようであるため、継続して支援を行っていく。							

基本戦略⑪		雇用の安定と就業場所の確保に向けた企業誘致の推進						
内容		企業誘致による雇用創出に取り組み、市民の就業機会を増加させます。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(先行型交付金)鹿島市企業誘致推進基盤整備事業	事務系バックオフィスの進出協定の締結	件	1	0				
(総計)企業誘致対策事業	進出協定締結企業数	社	1	0				
今後の展開	引合企業と空き物件や立地適地とのマッチングを推進しましたが、進出には至りませんでした。今後も継続して、佐賀県企業立地課や首都圏事務所等の関係機関と連携した企業誘致活動に取り組んでいきます。							

基本戦略⑫		雇用の拡大・創出に係る地元大学との連携						
内容		大卒者の地元就職率の向上と地域産業の振興による雇用の拡大・創出に地元大学と連携して取り組みます。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(新)さが地方創生人材育成活用プロジェクト	地元企業への就職率	%	10%増	—				
今後の展開	平成27年度に佐賀大学を中心とした県内大学と自治体、地元企業などからなる「さが地方創生人材育成・活用推進協議会」が設立され、平成28年度から大学の教育プログラムの開発やインターンシップ等で連携を行い、事業目標の達成を目指します。							

政策目標2 定住促進と交流人口の拡大

成果指標名	単位	施策目標		施策目標の達成状況				
		平成27年度	平成31年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
空き家バンク制度や空き町屋入居促進事業等の施策で転入した世帯数	世帯	—	24	5				
交流人口の増加(観光客入込数)5%増	千人	3,256	3,418	3,421				

基本戦略① UIJターンや本市居住希望者の定住促進のための空き家バンク制度の普及

内 容	UIJターンや本市居住希望者の定住促進のための空き家情報提供など空き家バンク制度の普及に取り組みます。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存) 空き家登録活用事業	空き家活用助成金の支給件数	件/年	4	1				
今後の展開	宅建協会と連携をとりながら空き家登録物件数の増加に努め、市外からの転入希望者に物件情報を提供していきます。							

基本戦略② 居住の安定や定住促進のための子育て世帯向け住宅の供給

内 容	居住の安定や定住促進のため、子育て世帯向け住宅の供給を図ります。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(新規) 市営住宅建設事業	市営住宅建設に係るPFI事業件数	件	1	0				
(既存) 住宅リフォーム事業	助成世帯数	世帯	350	75				
今後の展開	PFI事業について学習し、市営住宅建設に向けて業務を進めていきます。居住の安定を図るため、市内業者が施工した住宅のリフォーム工事について助成金の交付を実施していきます。							

基本戦略③		空き家となった伝統的な建物の観光資源や定住促進のための活用						
内 容	空き家となった伝統的な建物を観光資源としての活用や入居者を募り、定住促進を図ります。また、入居可能な空き家の調査及び所有者との交渉、入居希望者への対応などを行います。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存) 肥前浜宿空き町家入居促進事業	空き町家への入居数	件/年	2	4				
今後の展開	平成27年度に空き家調査を実施し、所有者の意向調査をしたことにより受入可能な空き家を把握したことで継続的に入居者を募集し定住促進を図っていきます。							

基本戦略④		伝統的な町並みや景観を活かした地域振興の推進						
内 容	イベント実施による交流人口の増加を図ります。 伝統的な町並みや景観を活かし、地元のNP0が中心となって様々なイベントが開催され、各イベントの参加者は、年々増加傾向にあります。イベントの運営による地域コミュニケーションの促進や交流人口拡大、定住促進につながるような地域振興を推進します。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存) 肥前浜宿まちなみ活用事業	イベント実施による交流人口増加数	人	5,000	5,000				
(既存) 酒蔵コンサート伝承芸能と音楽の祭典	交流人口増加数	人/年	500	5,000				
(新) 伝建10周年記念事業	イベント参加者数	人	100(H28のみ)	—		—	—	—
今後の展開	年々肥前浜宿でのイベントでは来場者の数が増加しているため、継続して実施していきます。							

基本戦略⑤		鹿島を応援してくれる人への情報発信、ふるさと納税の推進						
内 容	ふるさとを応援してくれる鹿島市出身者へふるさと納税のお願いをするとともに、市外在住者に対して特典付きのふるさと納税制度を設けることにより新たな鹿島のファンづくりを目指します。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(新) ふるさと納税推進事業	目標寄付者	人/年	200	174				
今後の展開	市内の特産品を寄附に対するお礼の品とすることで、地元特産品の売り上げ増、地場産業の活性化につながるため、全国に鹿島市の特産品をPRする機会ととらえ、今後もさらに返礼品の充実、掘り起こしを図り、寄附者の増につなげていきます。							

基本戦略⑥		地方への移住を考えている人への情報発信						
内容	国が整備している全国移住ナビ（国と自治体が共同で構築する、居住・就労・生活支援等に係る総合的なワンストップのポータルサイト）の充実など、移住先としての鹿島市のPRに取り組みます。 また、婚活事業を支援する中で、参加者に鹿島市への移住情報を提供します。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(新)移住推進事業	新移住者	人	5	6				
(新)若者の出会いと地域活性化を推進する婚活応援事業	交際カップル数	組	20	23				
	結婚を前提とした交際カップル	組	3	1				
(新)移住交流情報ガーデンでの移住相談会の開催	イベント参加者数	件/年	10	2				
今後の展開	県の移住サポートデスクの協力を得ながら移住希望者へ対応していきます。 婚活事業を行う団体へ補助を行い、若者の出会いの場づくりを支援していきます。 また、県などが主催する移住フェア等へ参加し、多くの移住希望者へのアプローチを行っていきます。							

基本戦略⑦		祐徳稲荷神社を核として市内回遊の仕掛けづくり						
内容	観光客の市内滞在時間を増やすため、祐徳稲荷神社をはじめ、肥前浜宿、有明海などの主要観光地にその他の観光素材を組み合わせ、テーマやターゲットごとに、観光周遊モデルコースを提案します。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(新)鹿島市観光周遊促進事業	観光入込客数	千人	3,256(H25) ⇒3,419(H31)	3,421				
今後の展開	H27に作成した市内周遊観光ルートを紹介する「のんびら〜とかしま」のPRのほか、募集型企画旅行に対する補助等を組み合わせながら、市内回遊を促進します。							

基本戦略⑧		観光客の市内回遊の仕組みづくり						
内容	鹿島酒蔵ツーリズム [®] やニューツーリズム、干潟体験などといった鹿島ならではの素材を活かしながら、観光客の市内回遊の仕組みづくりを充実させます。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)観光素材の発掘や磨き上げによる新たな観光ルートづくり	観光地の素材掘り起こし箇所数	箇所	1	0				
今後の展開	H27.1に重点「道の駅」に選ばれた「道の駅鹿島」やH27.6にラムサール登録湿地の「肥前鹿島干潟」、現在組織化を進められている農家民泊などといった観光資源等の掘り起こしや磨き上げに努めていきます。							

基本戦略⑨		鹿島流おもてなし						
内容		おもてなしのために必要となる鹿島市の魅力を学ぶ勉強会の開催やガイドの育成といった「人材育成」に努めます。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)ニューツーリズムの指導者や実践者、観光ガイドの育成	ニューツーリズム指導者	人/年	1	0				
	観光ガイド	人/年	5以上	0				
今後の展開		ニューツーリズム指導者については、鹿島市ニューツーリズム推進協議会において、また、観光ガイドは、2つあるガイド組織において、それぞれ育成に努められます。						

基本戦略⑩		酒蔵ツーリズム®の推進						
内容		3月末のPRイベント開催のみならず、秋のはしご酒を実施するほか、通年型の観光につなげるためのモニターツアーの実施を模索します。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存)酒蔵ツーリズム®推進事業	来客数(1イベント)	人	70,000以上	75,000				
	モニターツアーなど通年型ツアー回数	回/年	4回以上	0				
(新)観光プロモーション事業	市内酒蔵取扱石高	石/年	6,076	5,950				
	観光酒蔵入込客数	人/年	210,925	188,170				
今後の展開		イベントの来客数については、改善を図りながら前年実績以上の集客に努めていきます。通年型ツアー回数については、旅行者への補助制度を活用しながら件数を増やしていきます。市内酒蔵取扱石高についても、イベントの波及効果や各蔵の努力により、対前年比5%アップを目指します。観光酒蔵入込客数についても、イベント開催による知名度アップや旅行者への補助制度等によって、対前年比5%アップを目指していきます。						

基本戦略⑪		道の駅をはじめとした観光関連施設の整備・充実						
内容		地域活性化の拠点として、重点道の駅に選定された「道の駅鹿島」について、施設の整備と充実を行い、観光客の受け入れ態勢の強化を図ります。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存)重点「道の駅」整備方針・整備計画書策定事業	平成27年度中に計画策定を完了させる。	—	—	—	—	—	—	—
(総計)道の駅鹿島整備事業	計画に基づき、道の駅鹿島の整備充実を図る。	—	—	—	—	—	—	—

基本戦略⑫		インバウンド受け入れ態勢整備に向けた取り組み						
内容		年々増加傾向にある訪日外国人観光客へのおもてなし対応として、観光パンフレットの多言語化を進めます。また、必要に応じて外国語による案内表記や商品メニューの充実に努めます。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)インバウンド受け入れ態勢整備に向けた取り組み	—	—	多言語パンフレットの作成、観光地における多言語案内・表記の充実	5言語のパンフ作成、英語併記看板の作成済				
今後の展開	必要に応じ、観光パンフレットの多言語化をはじめ、案内表記などに努めます。							

基本戦略⑬		スポーツイベントの誘致及びスポーツ合宿の推進						
内容		市内のスポーツ資源を活かして、市外からのスポーツ合宿を誘致します。県外のスポーツ団体、特に関東学連所属の大学陸上部を合宿誘致し、合宿だけでなく陸上教室や交流事業を実施することで、スポーツの振興、青少年の健全育成、交流人口の拡大、地域経済の活性化を図ります。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存)スポーツ合宿誘致事業	合宿・イベント誘致団体数	団体/年	7	6				
今後の展開	継続してスポーツ合宿誘致を行います。特に、関東学連所属の有名な大学陸上部を合宿誘致することで、市民に興味、関心を持ってもらうとともに、対外的に鹿島市のPRを行います。また、小中学生に将来の憧れや目標など向上心を持ってもらうよう、陸上教室を開催します。							

政策目標3 若者の定住を促し、安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりの推進

成果指標名	単位	施策目標		施策目標の達成状況				
		平成27年度	平成31年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
出生数（5%増）	人	291	305	279 (△4.1%)				
市民アンケート(総合計画)で「児童福祉・子育て支援の充実」に「満足、どちらかといえば満足」と回答した市民の割合(10ポイント増)	%	45.4	55.4	—	—	—	—	

基本戦略① 教育・保育提供体制の確保

内 容	保育所・幼稚園・認定子ども園等の教育・保育提供体制の確保を図ります。
-----	------------------------------------

事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存) 特定教育・保育施設等給付事業	利用児童数	人/年	延14,660	14,763				
(既存) 延長保育促進事業	利用児童数	人/年	延1,308	15,797				
(既存) 一時預かり事業	利用児童数	人/年	延14,800	6,544				
(既存) 特別支援保育事業(障がい児保育)	利用児童数	人/年	延192	169				

今後の展開	市子ども・子育て支援事業計画に基づく量の見込みに対する確保方策の検証を行い、利用状況と供給体制の受給バランスを確認しながら、ニーズに応じた保育サービスの提供を図る。
-------	--

基本戦略②		多様な保育ニーズに対応した子育てサービスの環境整備						
内 容		子どもの年齢や家庭の状況に応じた支援の選択ができるよう、多様な子育てサービスを確保します。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存) 放課後児童健全育成事業	利用児童数	人/年	延4,224	3,992				
(新) 病後児保育事業(H29～)	利用児童数	人/年	延50	—				
(既存) ひとり親家庭等の児童に対する配食サービス事業	登録児童数	人/年	3	0				
(新) ファミリーサポートセンター事業(H29～)	利用児童数	人/年	50	—				
(新) 在宅保育支援事業(H28～)	訪問世帯数	世帯/年	延100	—				
(先行型交付金) 放課後児童延長サービス事業	対象児童数	人	20	11				
今後の展開	放課後児童健全育成事業は計画に基づく段階的な施設整備や学校施設の借用により、安全性や利便性を考慮した利用希望者の受入れ体制を図ります。また、預かり時間の延長を行うことで、保護者の就労しやすい環境整備に今後も努めます。新規事業については、円滑な実施開始に向けた準備を行います。							

基本戦略③		子育て支援に関する地域資源の活用とマンパワーの育成						
内 容		保育所や幼稚園、認定こども園などの教育・保育施設における保育サービスのほか、各種サービスの提供に必要な知識を習得するための研修等を開催し、人材育成を図ります。これにより、サービス提供者の人材確保やスキルアップが見込まれます。また、保育士等の有資格者に対しサービス提供者としての登録を働きかけることで、地域内での子育てサービスの充実が期待できます。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(新) 休日・夜間預かり事業	利用児童数	人/年	延30	—				
今後の展開	子育て支援センターを拠点とし、多様な子育てサービスを担う人材の発掘と登録、育成のための研修等を開催します。							

基本戦略④		利用者支援事業による子育て世帯の個別ニーズの把握						
内 容	個別の子育て家庭のニーズを把握し、適切な施設や事業等を円滑に利用できるよう支援します。従来は休庁日の相談には対応できていませんが、「子育てひろば」の開設により休日でも対応できるようになり、適切な保育サービスの情報提供や子育て支援機関との連絡調整を行うことで、保護者の子育てへの不安感・負担感を減らすことが可能となります。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存)地域子育て支援拠点事業	ひろば利用者数(親子)	人/年	延17,000	16,768				
	電話・来訪相談件数	件/年	延3,800	4,204				
(既存)利用者支援事業従事者育成のための雇用	電話・来訪相談件数	件/年	延250	289				
今後の展開	研修等参加により職員のスキルアップを図りながら、子育てひろば利用者からの相談に対して適切な助言や情報提供を行います。また、育児不安や潜在的な問題を抱える家庭へのアウトリーチを図り、虐待の未然防止や年齢や子どもの状態に応じた育児方法を指導します。							

基本戦略⑤		母子保健サービスの充実						
内 容	妊娠期から支援を必要とする若年妊産婦や育児不安の強い産婦、そしてそれらの乳児などに対し、妊娠から出産、産後にかけて保健師、助産師が専門的な訪問指導を行うことにより、適切な養育の支援を行います。保険診療外である体外受精・顕微授精を受けた夫婦に対し、治療費の一部を助成することにより経済的負担の軽減を図ります。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(新)養育支援訪問事業	訪問件数	件/年	40	36				
(既存)不妊治療費助成事業	助成件数	件/年	25	21				
今後の展開	今後も、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ったり、妊娠期から切れ目のない支援を行うことで安心して妊娠・出産・育児ができるよう努めていきます。							

基本戦略⑥		学習意欲の向上、主体的に学習に取り組む姿勢と態度の醸成						
内 容	通常の授業では味わえない体験活動(授業)を経験することにより、未来に羽ばたく子どもたちが育っていくことを目的とする事業です。科学分野に対する事業と、英語のコミュニケーション能力を身につける事業などを実施します。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)未来にはばたく子ども育成事業	参加者数	人	延べ200 ⇒ 延べ240	178				
今後の展開	科学分野に対する事業と、英語のコミュニケーション能力を身につける事業について、工業系高校・企業、地域の多様な人材等の協力を得て、内容の充実を図り、今後も継続して取り組みます。							

基本戦略⑦		ICT(情報通信技術)利活用教育の推進						
内 容		各学校のパソコン教室の機器をタブレット端末に切り替え、機器台数も2人に1台から1人1台が利用できる環境を整えることにより、学習効果を高めます。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
（総計）タブレット端末の導入 全小中学校に導入	導入完了年度	年度	平成32年度	36.4%				
今後の展開	平成27年度は11校のうち4校の機器を、デスクトップ型パソコンからタブレット端末へ入替えました。今後も年次計画により整備を図ります。（平成28年度は鹿島小・浜小・東部中を計画）							

基本戦略⑧		学校施設の計画的な大規模改造事業の実施						
内 容		普通教室及び特別支援教室へ空調を整備することにより、教育環境の質的向上を図るとともに、年次計画により20年以上経過した校舎を改修して、安全・安心な学校施設の整備を図ります。 大規模改造事業（老朽）の実施 H28～32年度 鹿島小・古枝小・浜小・明倫小・北鹿島小						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
（総計）空調設備の導入 全小中学校に整備	整備完了年度	年度	平成32年度	18.2%				
今後の展開	平成27年度は空調設備を西部中学校に整備して、全中学校の空調設備は完了しました。今後は年次計画により整備を図ります。また、大規模改造事業（老朽）については、平成27年度は古枝小学校校舎大規模改造1期工事の実施設計を行い、平成28年度工事に向けての準備・交付金の要望を行いました。今後も年次計画により整備を図ります。（平成28年度は古枝小を計画）							

政策目標4 安全安心の確かな暮らしを営む ずっと住み続けたいまちの実現

成果指標名	単位	施策目標		施策目標の達成状況				
		平成27年度	平成31年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
市民アンケートでの「住みやすいまちと感じている」市民の割合 (5ポイント増)	%	78.3	83.3%以上	—	—	—	—	—
市民アンケートでの「防災対策の推進」で「満足、またはどちらかといえば満足」と回答した市民の割合 (10ポイント増)	%	46.4	56.4	—	—	—	—	—
市民アンケートでの「道路網の整備」で「満足、またはどちらかといえば満足」と回答した市民の割合 (約5ポイント増)	%	44.2	50.0	—	—	—	—	—
市民アンケートでの「生涯学習の充実」で「満足、またはどちらかといえば満足」と回答した市民の割合 (約5ポイント増)	%	64.3	70.0	—	—	—	—	—
市民アンケートでの「歴史・文化財・伝統行事の保存活用」で「満足、またはどちらかといえば満足」と回答した市民の割合 (約5ポイント増)	%	65.9	70.0	—	—	—	—	—
市民アンケートでの「防災対策の推進」で「満足、またはどちらかといえば満足」と回答した市民の割合 (5ポイント増) (10ポイント増)	%	58.2	63.2	—	—	—	—	—

基本戦略① 行政と住民が一体となった防災・減災体制の強化

住民が避難した場合に必要な食糧、生活必需品等の備蓄品の充実を図ります。また、市内6地区ごとの洪水、内水、土砂災害、高潮、地震、津波の浸水想定区域図や危険箇所等を表示した防災マップを作成します。さらに、指定緊急避難場所や既存看板等への標高の表示、低地の集落公民館等の看板を設置します。

事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存) 災害対策用備蓄品整備事業	①想定避難者数分の備蓄品	人	1,557	60				
(既存) 自主防災組織助成事業	共助のための人材・資材を充実させる	—	—	—	—	—	—	—
(既存) 鹿島市防災マップ作成事業	②マップ作成地区数	地区	6	0				
(既存) 緊急避難場所・避難所看板設置事業	③指定緊急避難箇所数	箇所	35	0				
	④看板設置個所数	箇所	49	0				

今後の展開 ①については、高齢者及び乳幼児を除き保存食を3,500食備蓄する計画であり、27年度末で2,100食備蓄のため60%。②及び③については、H29年度整備予定。④については、H28年度中に土地家屋調査士会の協力を得て整備予定。

基本戦略② 防災体制の強化								
内容	新世紀センター（仮称）と防災情報伝達システムを核とした防災体制の強化に努めます。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)防災情報伝達システムの整備・推進	各家庭への個別受信機設置率	%	100	42.2				
今後の展開	CATV屋内放送システム工事については、H27. 7. 30～H28. 12. 22迄の工期となっており現在整備中。H27年度末で設置済み戸数が4,495件、世帯数が10,648世帯により42.2%。							

基本戦略③ 水道施設の計画的な整備・更新								
内容	老朽化・機能劣化の状況に応じて適切な更新を行い、安定的な給水の維持向上に努めます。また、配水池の老朽化によるひび割れ及び漏水対策と低標高、少容量配水池の統廃合を推進します。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)配水管の更新	更新する管の長さ	m/年	1,000	616				
(総計)新久保山配水池の築造	完了年度	年度	平成31年度	基本設計				
今後の展開	配水管新設工事を優先して行う必要があったことから事業目標を達成することができませんでした。これから老朽化した配水管の更新など維持管理費に要する経費の増大は避けられず、今後、策定予定の水道資産更新計画（アセットマネジメント）に基づき、より一層効率的かつ効果的に水道施設の更新に努めます。また、平成31年度新久保山配水池築造の竣工にむけ用地買収や工事を計画的に行っていきます。							

基本戦略④ 森林資源の維持								
内容	森林が持つ「水源涵養」・「災害防止」・「生物多様性」等の多面的機能が発揮できるよう、適正な森林づくりへの支援等を行い、豊富な森林資源の維持増進を図ります。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)環境林の整備	山浦 浄土地区の環境林の整備面積	ha	6	3.12				
(新)山村多面的機能の向上活動	活動団体の組織数	地区	6地区 ⇒ 8地区	6				
今後の展開	環境林の整備は、県の森林環境税を活用した事業で、平成29年度までの事業計画で実施しています。事業の継続があれば実施することとしていますが、無い場合は単独事業となるため検討中である。山村多面的機能の向上活動は、平成28年度までの事業期間となっており、これ以降の事業期間は未定です。事業継続の場合、地元説明会等を通じて活動組織の拡大に努めます。							

基本戦略⑤		疾病予防の取組						
内 容	肝がんや生活習慣病をはじめとする疾病予防に取組み、健康寿命の延伸や医療適正化に努めます。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存)肝疾患検診事業	目標受診率	%	50	45.1				
(総計)国民健康保険被保険者の生活習慣病予防のための特定健診	特定健診受診率	%	60	41.1 (H26年度)				
	特定保健指導実施率	%	60	34.1 (H26年度)				
今後の展開	肝疾患検診事業については、毎年2%程度の伸びの見込みがあり、平成31年度に目標達成可能と考えられます。特定健診は、未受診に対して通知・訪問・電話で勧奨していますが、40%台が精一杯の状況です。特定保健指導は、目標率には遠いが年々実施率が伸びてきており、生活習慣の改善に取り組む人が増えています。今後も受診者増加に向けて受診勧奨や事業のPRに努めます。							

基本戦略⑥		感染症対策の充実						
内 容	新型インフルエンザなどの発生に備え、対策備蓄品を整備します。また、中学3年生以下のインフルエンザ予防接種の費用の一部を助成するなど感染症対策の充実を図ります。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存)新型インフルエンザ等対策備品整備事業	公共施設備蓄率	%	100	100				
(既存)小児インフルエンザ助成事業	中学3年生以下インフルエンザ予防接種率	%	40	33.5 (1,480人)				
今後の展開	インフルエンザのまん延と重症化予防のために、予防接種の接種率向上に向けての勧奨等に努めていきます。新型インフルエンザの対策備蓄品の整備に加え、その対処法等についても関係機関と協議を進めます。							

基本戦略⑦		肥前鹿島駅整備の推進						
内 容	肥前鹿島駅舎および駅前広場の整備に取り組みます。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)肥前鹿島駅舎および駅前広場の整備	平成32年度～36年度をめどに整備を行う。	—	肥前鹿島駅舎及び駅前広場整備に向けた環境整備	交通量調査実施				
今後の展開	肥前鹿島駅の利用実態を調査したことにより今後新幹線長崎ルート開業を見据えながら整備方針を検討するため、学識経験者を含め関係者の意見を聞くための検討委員会等を立ち上げます。							

基本戦略⑧		公共交通体系等の整備						
内 容	公共交通体系全体の調査を実施するとともに、地域公共交通網形成計画の策定および実施します。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(新)日常生活における交通の確保対策事業	市民満足度	%	50	－	－			
今後の展開	平成27年度、鹿島市地域公共交通網形成計画策定の検討を実施、平成28年度に計画策定を行い、平成29年度から満足度について市民アンケートを実施します。							

基本戦略⑨		西牟田地区(商業地)の混雑解消を目的とした道路の整備						
内 容	平成27年度に交通解析調査設計を行う予定であり、その結果を基に整備方針を決定し、混雑解消に取り組みます。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(新)混雑解消に向けた道路整備	完了年度	年度	平成32年度	現況調査実施				
今後の展開	平成27年度の調査を受けて、H28概算設計、H29詳細設計を行ない混雑解消に取り組みます。							

基本戦略⑩		人にやさしい道路の整備とバリアフリー化						
内 容	歩行者通行量が多い市道を計画的にバリアフリー化とカラー舗装を行い、歩行者の安全性を高めます。南北は肥前鹿島駅から大手門あたりまで、東西は中牟田・御神松線の整備から始めていきます。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(新)段差解消とカラー舗装化15路線	完了年度	年度	平成32年度	1				
(新)段差解消	事業完了路線	路線/年	1路線/年	0				
(新)カラー舗装	事業完了路線	路線/年	2路線/年	1				
今後の展開	地元からの要望や通学路の安全点検の結果等をもとに整備を行い子供たちやお年寄りに安全・安心を提供したい。							

基本戦略⑪		花と緑を育てる市民運動の拡大						
内 容	緑化活動団体を増やします。また市街地では、宅地化が進み草花などの植物が減り、まちなかの緑が不足しているため、地域団体等で植栽を実施して都市緑化を推進し、市民への緑化意識を向上させます。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(既存) 季節を感じる街かど花壇事業	高齢者の作業従事者数	人	120	104				
今後の展開	まちなかの緑化を推進するとともに、高齢者の活躍の場を提供することで、地域の活力の維持向上を図るため継続して実施します。							

基本戦略⑫		環境都市の形成						
内 容	資源循環型社会を構築できる環境都市を目指します。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計) 生ごみのたい肥化を図るための「生ゴミ分別収集」実施	収集世帯数	世帯	800	378				
(総計) 水質汚濁防止のための浄化槽の設置推進	浄化槽設置数	基	320/4年間	42				
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度から馬渡地区をモデル地区として生ごみ堆肥化に取り組んできました。平成27年度からは行成地区に拡大し、さらに平成28年度は末光区、執行分、井手分区へと順次、拡大していく予定であり、平成31年度までには大字納富分地区全体で実施したいと考えています。また、大字納富分地区以外でも先行して実施したい地区があれば取り組む予定です。 浄化槽の設置については、現行の補助制度を基本としつつ、下水道の整備区域の見直しと合わせ、下水道整備区域外には浄化槽設置により環境保全を図っていくため、下水道区域との設置費用や維持管理費用の均衡を考慮して、市独自の補助制度の創設を今後検討していきます。 							

基本戦略⑬		自然共生社会の形成						
内 容		人と自然が共生できる地球にやさしい自然豊かなまちづくりに努めます。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)ラムサール条約に基づく海域環境および生物多様性保全に関する普及啓発活動並びに活動拠点の整備	案内看板・トイレ・駐車場整備年度	年度	平成29年度	案内看板の設置				
息する生物の生息状況に関する調査研究の実施	調査研究実施年度	年度	平成32年度	平成27年度から5年間実施				
(総計)ラムサール条約の目的推進の取組みとして東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ活動を通じた「ビジターセンター」の誘致	誘致目標年	年度	平成32年度	知事へ要望				
(先行型交付金)鹿島市エコツーリズム啓発事業	ラムサール条約登録地の観察者	人/年	10,000	500				
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は、ラムサール条約推進の方向性を様々な関係者で協議し、「肥前鹿島干潟保全・利活用計画」の策定を目指します。また、計画策定後は、計画に沿って進めていきます。 ・ 佐賀大学と連携し実施している有明海の海域調査については、5年間のスパンで調査を行い、5年間の調査結果で有明海の実態を把握していきます。 ・ ビジターセンターの誘致については、知事へ要望するとともに道の駅整備での拠点施設整備も同時に検討していきます。 ・ エコツーリズムについては、どのような形で観光客を呼び込めるのか、関係者との協議を重ねていきます。 							

基本戦略⑭		新しい市民会館の整備による生涯学習施設(エイブル)と連動した市民文化交流の場の提供						
内 容		市民文化交流の場として、エイブルと互いに連携して活用できる市民会館を新たに整備します。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)新しい市民会館の整備による生涯学習施設(エイブル)と連動した市民文化交流の場の提供	新しい市民会館の整備完了	年度	平成31年度	—				
今後の展開	建設財源として社交金及び起債並びに一般財源を想定していたが、社交金の要望措置率が50%程度に減少することが予想されるとともに事業採択要件が非常に厳しくなっている。全体事業費、事業規模等を再検討する必要があると考えるが、新市民会館に求められる施設・装備についての優先順位を付与し、1期工事～2期工事～3期工事といった中期的な整備スケジュールの策定についても検討したい。							

基本戦略⑮		生涯学習の環境整備						
内容	市民の誰もが「いつでも」「どこでも」「何でも」学べる環境の整備と機会の提供を行い、生涯学習の振興に努めます。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)生涯学習センター・市民図書館を拠点とした市民主体、市民主導による生涯学習の展開	エイブル倶楽部会員	人	1,000	912				
今後の展開	地域住民の参加促進のため、サポーター制度（えいぶるバンク）を見直し、より多くの人々に支えられる組織づくりを進めます。また、個人会員の更新率アップと法人会員制の実現など、幅広い層の生涯学習参加と企業の福利厚生をサポートを行います。							

基本戦略⑯		図書館の利用促進及び読書習慣の定着のための事業展開						
内容	従来の「待つ」図書館から方針を転換し、アウトリーチサービスに力を入れ、これまで図書館サービスが及ばなかった人々に対して、サービスを広げていきます。 現在も行っている「ミニミニ図書館」の巡回箇所を増やし、市民の読書推進活動の拡大と図書館に来館できない人へのサービスを充実させます。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)図書館の利用促進及び読書習慣の定着のための事業展開	一人当りの貸出冊数	冊	9.29 ⇒ 9.69	9.04				
今後の展開	多様化している市民のニーズに対応できる図書館づくりに努め、蔵書の更新等に力を入れ、図書館が“直接資料を手に取り情報収集できる場”“癒しの場”“親子のコミュニケーションの場”“地域に根ざした生涯学習の拠点”として機能することを目指します。							

基本戦略⑰		地域の絆づくりの推進						
内容	地域コミュニティ活動や市民主体の組織活動を支援し、世代を超えた交流活動を通じ、「地域の絆づくり」を推進します。							
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計)地域ぐるみで行う世代間交流の推進	親子季節ふれあい教室等のイベント開催	—	毎年実施する	9回、6地区実施				
(新)異世代間交流事業	子どもクラブと老人クラブ合同のイベント開催	—	月1回程度開催する	1.0				
(新)ふるさとの歴史・文化再発見！親子で楽しむ歴史教室	地区外の行事認知度アップ率	%	10	10				
今後の展開	公民館等で実施する世代間交流事業を定着させ、次世代の担い手育成など地域の活性化につなげます。今後も、各地区の老人クラブと子どもクラブが合同で様々な活動を通して交流を図ります。活動の一つにニュースポーツを取り入れることで、子どもの親世代（中間世代）の参加が期待されるため、幅広い世代の交流を拡充します。							

基本戦略⑱		伝統芸能等保存に対する支援						
内 容		伝承芸能で使用する楽器等の購入助成、伝承芸能フェスティバルの開催等地域の民俗芸能や祭礼行事、伝統工芸などの保存継承の支援を行います。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(総計) 地域の民俗芸能や祭礼行事、伝統工芸などの保存継承の支援	伝承芸能フェスティバルの開催	開催/年	毎年開催	1				
	伝承芸能で使用する楽器等の購入補助	件/年	1	4				
今後の展開	交流人口の増加を図るため年1回程度伝承芸能フェスティバルを開催し、市内外に鹿島市の伝承芸能のすばらしさをアピールします。また、ふるさと創生基金等を活用し、伝承芸能の保存継承のための補助を行っていきます。							

基本戦略⑲		CSO活動に対する支援・相談体制の充実						
内 容		市民や各種グループが自らのやる気とアイデアにより実施する地域づくり活動に対して、各種補助金による支援を行うほか、広報への協力や相談体制などを充実し、市民と行政が一体となったまちづくり活動の推進に取り組みます。						
事業等	活動指標名	単位	平成31年度事業目標【KPI】	KPIの達成状況				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(新) 青年活力啓発事業	地域活動組織の強化	—	—	—	—	—	—	—
今後の展開	若い世代を中心とした各種グループを対象に、平成28年度から事業を実施しています。今年度は、婚活事業や肥前浜宿土曜夜市など4事業を採択しました。平成31年度まで実施予定です。							